



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東  
 コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 滝沢 慎一 (TEL) 03-6701-1070  
 I R・広報部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 2023年9月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	380,998	6.4	40,970	7.6	38,538	1.7	21,842	△9.8
2022年12月期第2四半期	358,040	—	38,089	—	37,896	—	24,207	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 73,371百万円(△23.2%) 2022年12月期第2四半期 95,477百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年12月期第2四半期	円 銭 65.26	円 銭 65.21
2022年12月期第2四半期	71.32	71.26

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。このため、当該会計基準等を適用する前の2021年12月期第2四半期連結累計期間に係る各数値に対する対前年同四半期増減率は記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,257,258	733,765	56.6
2022年12月期	1,221,533	668,534	52.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 711,617百万円 2022年12月期 646,750百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	21.00	—	23.00	44.00
2023年12月期	—	25.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	810,000	7.1	84,000	△3.6	79,000	△6.0	47,000	△13.5	140.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期 2Q	354,863,603株	2022年12月期	354,863,603株
2023年12月期 2Q	20,105,485株	2022年12月期	20,171,061株
2023年12月期 2Q	334,725,385株	2022年12月期 2Q	339,408,563株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)における世界経済は、サプライチェーンの混乱収束や半導体不足による供給制限の緩和などにより、一部の地域を除いて緩やかに回復しました。一方で、インフレ抑制のための各国における金融引き締めの継続や、回復が期待されたものの力強さを欠く中国経済、出口の見えないロシア・ウクライナ情勢など、先行き不透明な状況が続きました。

かかる環境下、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比22,957百万円(6.4%)増の380,998百万円、営業利益は2,880百万円(7.6%)増の40,970百万円、経常利益は642百万円(1.7%)増の38,538百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,364百万円(9.8%)減の21,842百万円となりました。

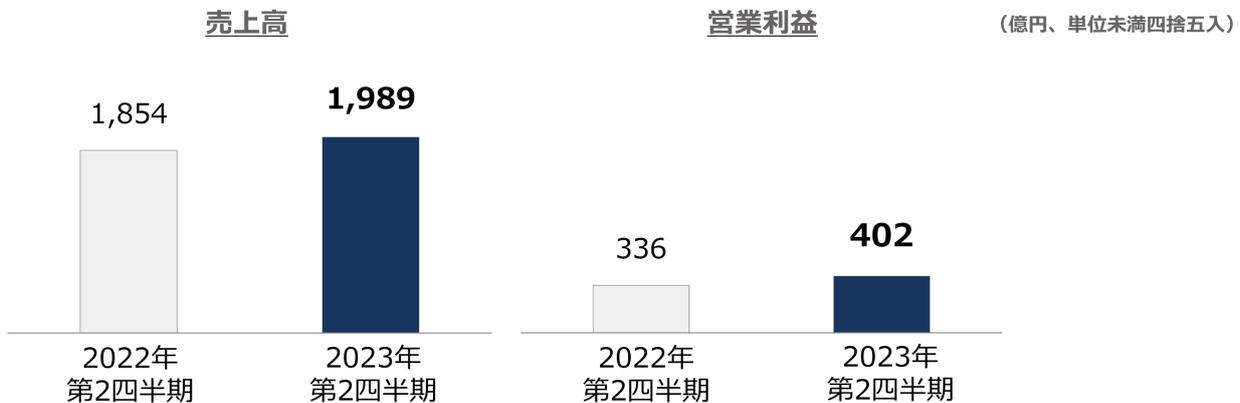
2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関して提起された民事訴訟について、訴え却下の申立てが認められる見込みの1名を除き、係争中であったすべての原告との間で2023年4月に和解が成立しました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間において、本件訴訟などに関する訴訟関連損失として7,520百万円を特別損失に計上していません。なお、この1名については、2023年7月に訴え却下の申立てが認められ、本件訴訟は解決しました。

(単位:百万円)

	2022年度 第2四半期 連結累計期間		2023年度 第2四半期 連結累計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニリアセテート	185,440	33,617	198,919	40,247	13,479	6,630
イソプレン	31,905	2,477	31,795	△2,703	△110	△5,181
機能材料	77,791	3,311	93,371	5,749	15,580	2,437
繊維	31,795	3,795	30,163	665	△1,632	△3,130
トレーディング	29,705	2,776	28,970	2,302	△734	△474
その他	23,668	1,221	22,864	575	△803	△646
消去又は全社	△22,266	△9,110	△25,087	△5,865	△2,820	3,244
合計	358,040	38,089	380,998	40,970	22,957	2,880

## [ビニリアセテート]

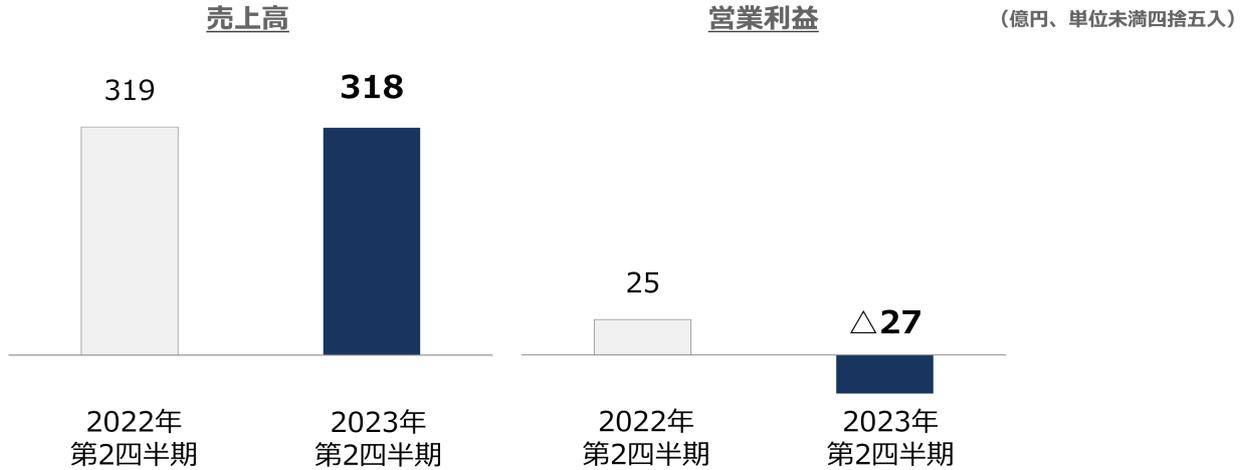
当セグメントの売上高は198,919百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は40,247百万円(同19.7%増)となりました。



- ① ポパール樹脂は、世界的な需要減退により販売量は減少しましたが、高付加価値品へのシフトを一層進めました。光学用ポパールフィルムは、液晶パネルの在庫調整は一巡したものの、大型液晶ディスプレイの需要回復が遅れ出荷が減少しました。高機能中間膜は、PVBフィルムの自動車向け需要の回復に加え、建築用途も堅調に推移しました。水溶性ポパールフィルムは、インフレによる買い控えなどの影響により、主に欧州で個包装洗剤向けの出荷が減少しました。
- ② EVOH樹脂(エバル)は、食品包装用途が堅調に推移したことに加え、自動車用途の需要に回復が見られました。

## [イソプレン]

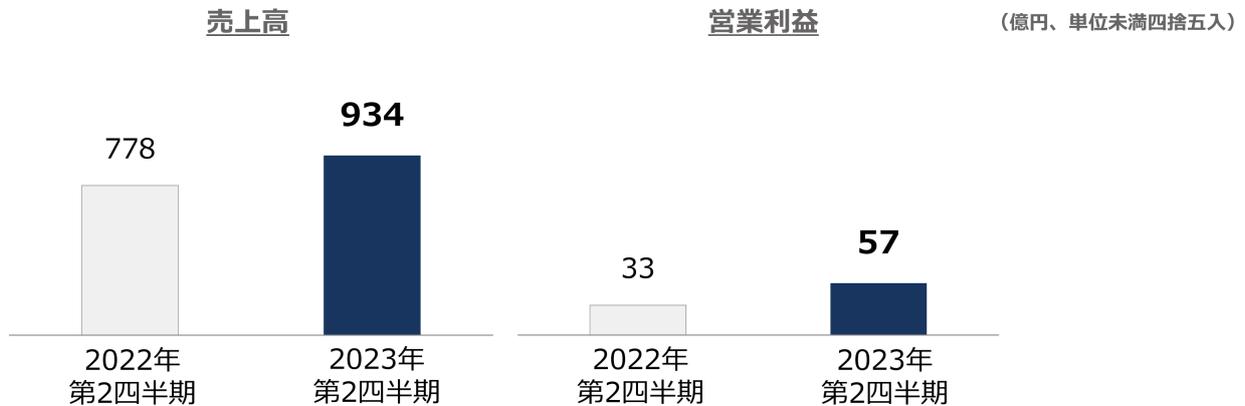
当セグメントの売上高は31,795百万円（前年同期比0.3%減）、営業損失は2,703百万円（前年同期は営業利益2,477百万円）となりました。なお、タイの新プラントは2月より順次稼働を開始しました。



- ① イソプレンケミカル、エラストマーは、昨年後半から続く需要減退による販売量の減少に加え、市況悪化の影響を受けました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂（ジェネスタ）は、自動車向けは回復の兆しが見られたものの、電気・電子デバイスの在庫調整の影響を受け、販売量が減少しました。

## [機能材料]

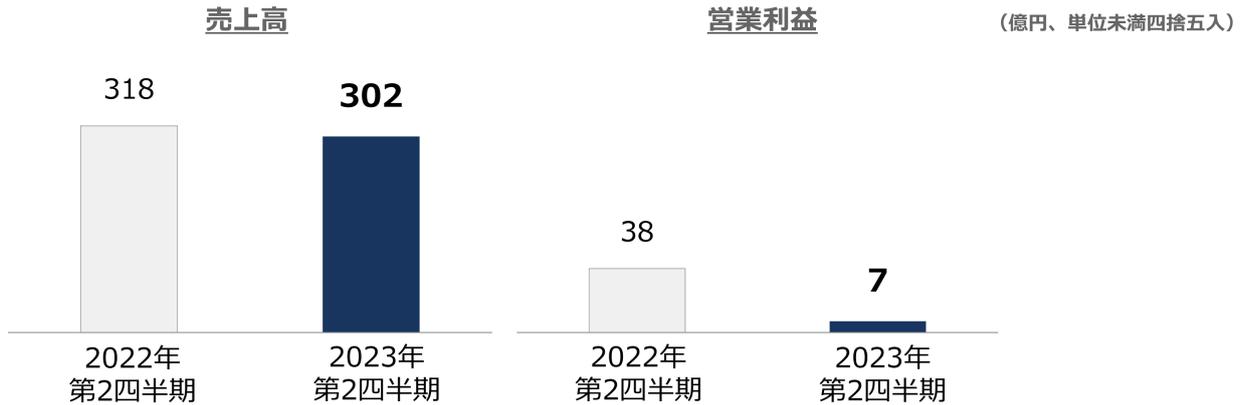
当セグメントの売上高は93,371百万円（前年同期比20.0%増）、営業利益は5,749百万円（同73.6%増）となりました。



- ① メタアクリルは、電気・電子デバイスの在庫調整などによる販売量の減少に加え、原燃料価格上昇の影響を受けました。
- ② メディカルは、審美治療用歯科材料の販売が国内外で順調に推移しました。
- ③ 環境ソリューションは、北米の飲料水用途で需要が増え、活性炭の販売が堅調に推移しました。

## [繊維]

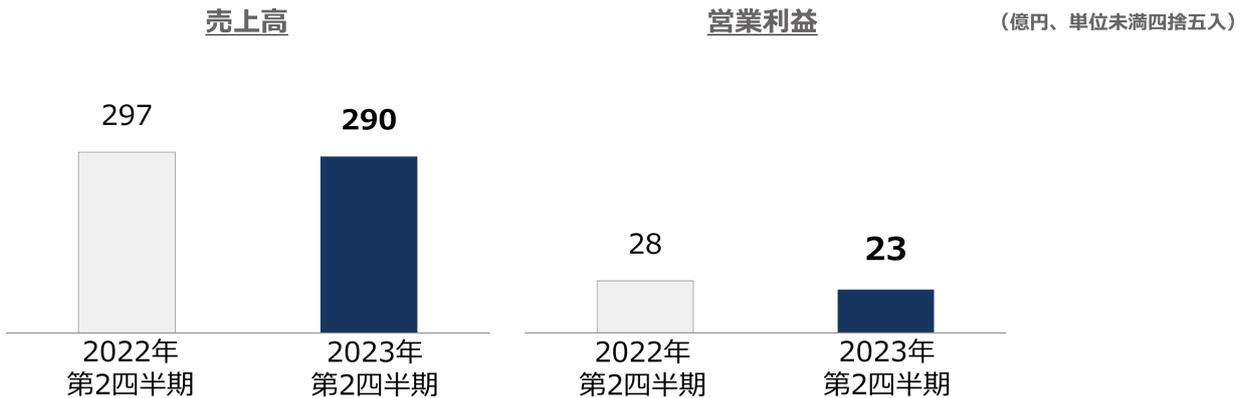
当セグメントの売上高は30,163百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は665百万円（同82.5%減）となりました。



- ① 人工皮革〈クラリーノ〉は、スポーツ用途などで需要減退の影響を受け、出荷が減少しました。
- ② 繊維資材は、〈ベクトラン〉が堅調に推移しましたが、ビニロンは自動車向けで回復の兆しが見られたものの、欧州の建材用途が低調でした。
- ③ 生活資材は、〈クラフレックス〉で外食産業の需要が低調でした。

## [トレーディング]

当セグメントの売上高は28,970百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は2,302百万円（同17.1%減）となりました。



- ① 繊維関連事業は、スポーツ衣料が堅調に推移しましたが、資材関連が苦戦しました。
- ② 樹脂・化成品関連事業は、アジア市場での販売が低調でした。

## [その他]

その他事業の売上高は22,864百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は575百万円（同52.9%減）となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、有形固定資産の増加25,305百万円及び棚卸資産の増加15,402百万円等の一方、現金及び預金の減少18,105百万円等により、前連結会計年度末比35,725百万円増の1,257,258百万円となりました。負債は、主として未払金の増加に伴うその他流動負債の増加18,286百万円等の一方、有利子負債の減少38,510百万円及び支払手形及び買掛金の減少10,863百万円等により、前連結会計年度末比29,505百万円減の523,492百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末比65,231百万円増の733,765百万円となりました。自己資本は711,617百万円となり、自己資本比率は56.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は想定を上回る進捗となりましたが、一部の事業において需要の回復が遅れていることから、2023年5月12日に公表した2023年12月期通期(2023年1月1日～2023年12月31日)の連結業績予想を据え置きます。また、予想の前提としている平均為替は米ドル138円、ユーロ148円、国産ナフサ66千円/k1に見直します。

なお、2023年7月12日に当社の連結子会社である株式会社入間カントリー倶楽部の株式の全てをリソルホールディングス株式会社のグループ企業であるリソル株式会社に譲渡することとし、株式譲渡契約を締結しました。株式の譲渡は2023年8月31日を予定しています。本譲渡による当社の連結業績への影響は軽微です。

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

## (4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は株主に対する利益配分を経営の重要課題と位置付け、中期経営計画「PASSION 2026」期間においては、親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向35%以上、かつ1株につき年間配当金40円以上を基本方針とし、収益拡大を通じた株主還元の充実を図ることとしています。

2023年度の配当につきましては、上記株主還元方針と足元の業績動向を踏まえ、中間配当及び期末配当予想をそれぞれ1株当たり1円増額し、25円とすることを決定しました。これにより、1株当たり年間配当金(予想)は50円となり、前回予想から2円、前期実績からは6円の増配となります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	123,724	105,618
受取手形、売掛金及び契約資産	157,016	163,223
有価証券	4,852	5,686
商品及び製品	145,851	154,366
仕掛品	19,078	18,564
原材料及び貯蔵品	60,104	67,505
その他	23,815	21,560
貸倒引当金	△510	△606
流動資産合計	533,933	535,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,745	112,065
機械装置及び運搬具（純額）	219,200	286,117
土地	23,264	24,002
建設仮勘定	137,424	71,881
その他（純額）	37,926	43,801
有形固定資産合計	512,562	537,867
無形固定資産		
のれん	56,058	58,946
顧客関係資産	30,432	31,511
その他	34,993	37,618
無形固定資産合計	121,484	128,076
投資その他の資産		
投資有価証券	23,194	23,954
長期貸付金	97	107
退職給付に係る資産	2,104	2,270
繰延税金資産	16,718	17,265
その他	11,458	11,811
貸倒引当金	△20	△17
投資その他の資産合計	53,553	55,393
固定資産合計	687,600	721,337
資産合計	1,221,533	1,257,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,717	41,853
短期借入金	34,480	36,515
コマーシャル・ペーパー	10,000	-
1年内償還予定の社債	10,000	-
1年内返済予定の長期借入金	30,434	29,330
未払費用	21,075	17,050
未払法人税等	11,370	9,583
賞与引当金	9,132	7,319
その他	42,119	60,406
流動負債合計	221,330	202,059
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	179,491	160,049
繰延税金負債	17,279	18,259
退職給付に係る負債	25,626	27,868
資産除去債務	5,303	5,887
その他	43,968	49,368
固定負債合計	331,668	321,433
負債合計	552,998	523,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,152	87,146
利益剰余金	399,910	414,055
自己株式	△25,735	△25,652
株主資本合計	550,282	564,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,769	6,421
繰延ヘッジ損益	611	227
為替換算調整勘定	90,555	140,737
退職給付に係る調整累計額	△468	△274
その他の包括利益累計額合計	96,467	147,112
新株予約権	341	341
非支配株主持分	21,443	21,806
純資産合計	668,534	733,765
負債純資産合計	1,221,533	1,257,258

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	358,040	380,998
売上原価	247,326	261,167
売上総利益	110,713	119,830
販売費及び一般管理費		
販売費	22,146	20,742
一般管理費	50,477	58,117
販売費及び一般管理費合計	72,623	78,860
営業利益	38,089	40,970
営業外収益		
受取利息	115	644
受取配当金	320	360
持分法による投資利益	142	96
その他	1,962	703
営業外収益合計	2,540	1,805
営業外費用		
支払利息	722	1,380
為替差損	-	1,026
その他	2,011	1,830
営業外費用合計	2,734	4,237
経常利益	37,896	38,538
特別利益		
投資有価証券売却益	2,260	676
受取保険金	1,089	-
特別利益合計	3,349	676
特別損失		
訴訟関連損失	1,549	7,520
固定資産廃棄損	135	351
操業休止関連費用	4,915	-
特別損失合計	6,600	7,872
税金等調整前四半期純利益	34,645	31,342
法人税、住民税及び事業税	10,322	10,099
法人税等調整額	△588	△798
法人税等合計	9,733	9,301
四半期純利益	24,911	22,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	704	198
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,207	21,842

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	24,911	22,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,448	652
繰延ヘッジ損益	1,317	△351
為替換算調整勘定	70,094	50,835
退職給付に係る調整額	602	194
その他の包括利益合計	70,565	51,330
四半期包括利益	95,477	73,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,395	72,487
非支配株主に係る四半期包括利益	2,081	884

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	34,645	31,342
減価償却費	31,201	36,731
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,260	△676
訴訟関連損失	1,549	7,520
固定資産廃棄損	135	351
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,708	2,269
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△28,455	△1,947
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,611	△12,498
その他	△9,101	6,600
小計	32,617	69,693
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△10,670	△11,043
その他	△583	△1,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,362	57,616
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	3,420	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△31,842	△30,151
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,749	1,254
その他	△1,668	△1,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,340	△30,184
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100	1,894
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	20,000	△10,000
長期借入れによる収入	11,828	-
長期借入金の返済による支出	△55,007	△22,938
社債の発行による収入	10,000	-
社債の償還による支出	-	△10,000
自己株式の取得による支出	△10,001	△1
配当金の支払額	△6,880	△7,697
非支配株主からの払込みによる収入	502	-
その他	△1,725	△1,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,183	△50,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,750	5,790
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,411	△17,271
現金及び現金同等物の期首残高	151,487	127,616
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	136	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	121,212	110,345

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

米国子会社における火災事故に関する訴訟の解決

2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関して提起された民事訴訟について、訴え却下の申立てが認められる見込みの1名を除き、係争中であったすべての原告との間で2023年4月に和解が成立しました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、本件訴訟を含む訴訟関連損失として7,520百万円を特別損失に計上しています。なお、この1名については、2023年7月に訴え却下の申立てが認められ、本件訴訟は解決しました。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	177,920	25,370	76,132	30,063	28,907	338,394	19,646	358,040	—	358,040
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,519	6,535	1,658	1,732	797	18,244	4,022	22,266	△22,266	—
計	185,440	31,905	77,791	31,795	29,705	356,638	23,668	380,307	△22,266	358,040
セグメント利益	33,617	2,477	3,311	3,795	2,776	45,978	1,221	47,199	△9,110	38,089

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△9,110百万円には、内部取引消去△1,208百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,901百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	190,694	25,545	91,422	28,326	28,190	364,179	16,819	380,998	—	380,998
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,225	6,249	1,948	1,836	780	19,041	6,045	25,087	△25,087	—
計	198,919	31,795	93,371	30,163	28,970	383,220	22,864	406,085	△25,087	380,998
セグメント利益 又は損失(△)	40,247	△2,703	5,749	665	2,302	46,260	575	46,836	△5,865	40,970

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,865百万円には、内部取引消去2,002百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,868百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。